

地上デジタルテレビジョン放送について

いよいよ地上デジタルテレビ放送が、2003年12月より近畿圏にて放送が始まることになりました。

地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使用して放送され、ハイビジョンレベルの高画質・高音質でゴースト（画面の二重写り）や雑音の少ない、美しい映像でご覧に成ることが、出きるようになります。

また、双方向サービスなど、デジタルならではの地域に密着したローカル情報をいつでも取り出せるなど、くらしに役立つさまざまな番組が楽しめるような放送が可能になります。

- 2011年までは、地上アナログ放送と地上デジタル放送が並行して放送されますが、地上デジタルへの移行完了後、地上アナログ放送は終了予定になっています。ご理解・ご協力をお願いします。
- 今後、テレビ放送（電波）が変わって行きますので、建物内のテレビ設備の改修工事が必要に成ってまいります。
- 又、BS・CS放送の導入をお考えの方には、この機会に地上波デジタル放送も、一緒に入れられては如何でしょうか。

見るテレビから使うテレビへ

デジタル放送では、信号（映像・音声等）がデジタル化されることにより、従来のアナログ放送に比べて、一つのチャンネルで送信することのできる情報量がより多くなります。このため、これまでのような放送番組に加えて、多彩なデータ放送も楽しむことができ、次のようなサービスが可能となります。

- ・ これまでのアナログ放送では実現できなかった、ハイビジョンクラスの高画質、CD並の高音質なサービスを楽しむことができます。
- ・ 見たい番組をテレビの画面上で自由に選択したり、必要な情報を検索することができます。
- ・ 地上デジタル放送ならではの地域に密着した番組も楽しめます。
- ・ 双方向機能により、クイズ番組に参加したり、番組中のアンケートに答えたり、テレビショッピングもできるようになります。（通信回線に接続しておく必要があります。）
- ・ 天気や交通情報といった身近な情報をいつでも見ることができます。

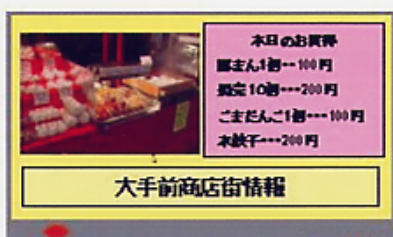
これからのテレビは『見るテレビから使うテレビへ』と進化していきます。



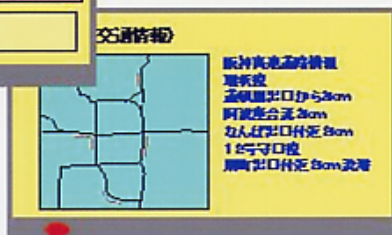
高画質・高音質！！



画面上で番組選択・
番組情報の検索も



地域情報や交通情報も



リモコン操作でらくらく